

香川県森林センター 樹木マップ（本館周辺） R6.2現在

名前の由来は諸説あります。一般的な由来の一部を紹介します。

和名	漢字	主な別名	科	花期(月)	果期(月)	樹形	日本固有種	雌雄異株	香川の山で見られる	成長速度	生育地・適地	用途	名前の由来	特徴	
アオキ	青木	アオキバ ダルマ	ミズキ科	3~5	11~4	常緑中木		○	少	やや早い	照葉樹林内に多い	食用(新芽)、薬用(葉)、庭木、公園樹	無毛で光沢のある緑の色が印象的なことから	虫害や煙害に強く日陰でもよく育つ	
アスナロ	豆楡	アスヒ ヒバ	ヒノキ科	5	10~11	常緑高木	○		—		斜面下部の湿潤地を好む スギより乾燥に強い	建築材、家具材、船舶材、車両、器具材、彫刻材、軽木、精油	ヒノキより材質が劣るとされ「明日はヒノキになろう」という意味から	葉裏の白い気孔帯が目立つ、材はヒノキに劣らず耐朽性が高い	
アセビ	馬酔木	アシビ アセボ	ツツジ科	3~4	9~10	常緑中木			昔	遅い	山地の乾燥した明るい所	殺虫剤(葉)、細工材、薪炭材、庭木、公園樹、生け垣、盆栽	有毒であるため「悪し実」(あしみ)より	スズランのような花が穂になって垂れる	
アベマキ	あべ楨	コルククスギ	ブナ科	4~5	10~11	落葉高木			昔	やや遅い	山林や丘陵地の雑木林	建築材、器具材、薪炭材、シタケ栽培木、公園樹、	樹皮の凹凸を天然痘が治った後にできる傷跡のあばたに見立てたもの	樹皮にコルク組織が発達する クスギとの見分け方として、葉裏に毛があり白っぽければアベマキ	
アラカシ	粗榧	ボウガシ クログシ	ブナ科	4~5	10~11	常緑高木			昔	早い	山野の林内	建築材、器具材、薪炭材、庭木、公園樹、街路樹	葉や枝ぶりが粗っぽい	材は堅く、ゆがみがない	
イチイ	一位	アララギ スダオノキ	イチイ科	3~4	9~10	常緑高木		○	—	遅い	ブナ林に稀に自生	建築材、器具材、細工材、彫刻材、庭木、公園樹、生け垣、食用(仮種皮)	材から筋(しゃく)を作ったことから、位階の「正一位」にちなんだ	仮種皮が甘いのが種は毒	
イヌツゲ	犬柘植	ヤマツゲ コバモチ	モチノキ科	5~6	10~11	常緑中木			昔	早い	日当たりの良い丘陵地や山地	印材、器具材、細工材、庭木、公園樹、街路樹、生け垣、盆栽	ツゲに似ているが、材質が劣り役に立たないとされたため	大気汚染・乾燥・刈り込みに強い、材は割れにくい	
イヌマキ	犬楨	マキ クサマキ	マキ科	5~6	10~12	常緑高木		○	稀	遅い	暖地の海岸に近い山地	建築材、土木材、器具材、庭木、公園樹、生け垣、食用(果托)	本楨(ほんまき)と呼ばれたコウヤマキより材質が劣るとされたため	材は緻密で湿気に耐える	
イロハモミジ	伊呂波紅葉	タカオカエデ イロハカエデ	カエデ科	4~5	7~9	落葉高木			少	早い	低山や丘陵地の林内	器具材、楽器材、建築材、庭木、公園樹、盆栽	葉が掌状に5~7裂するのを「いろはにほへと」と順に数えたことから	カエデ類の園芸品種の大部分はイロハモミジから作られている モミジは紅葉の意味であったが、現在はカエデ類の総称	
ウバメガシ	姥目楡	ハベ ウバメガシ	ブナ科	4~5	10~11	常緑中木			昔	遅い	暖地の海岸近くの山地	器具材、薪炭材、庭木、公園樹、街路樹、生け垣	芽出しの葉の色が茶褐色で老成した感じがすることから	材が堅いので木槓に用いられる カン類では最も刈り込みに耐える	
ウワミズザクラ	上溝桜	ハハカ	バラ科	4~5	8~9	落葉高木			少	早い	内陸部の日当たりの良い谷筋	器具材、彫刻材、桜皮細工、床柱、食用(果実)	亀甲占いで輪切りにした材に溝を彫って使用したことから	樹皮を傷つくと天然香料クマリンの芳香がする	
エンコウスギ	猿猴杉	アヤスキ	スギ科	—	—	常緑中木			—	やや早い	湿気が多い半日陰程度の場所を好む	植栽、盆栽、生け花材	短い葉と長い葉が付く所が交互にある様子をテナガザルの腕に見立てた	スギの園芸品種とされる、花や実はない	
オオムラサキ	大紫	オオムラサキツツジ	ツツジ科	5~6	9~10	常緑低木			—		日当たりが良く水はけの良い酸性土壌を好む	庭木、生け垣、公園樹、街路樹	花が大きく赤紫色であることから	刈り込みに強く人工樹形に仕立てることができる 花には鮮紅色、白色、淡桃色などがある	
オオモミジ	大紅葉	ヒロハモミジ	カエデ科	4~5	6~9	落葉高木	○		少		深い山地の谷筋	建築材、木工材、庭木、公園樹、盆栽	イロハモミジより葉が大きい	葉は細鋸歯が規則的に並ぶ(イロハモミジは重鋸歯)	
カキノキ	柿の木	カキ	カキノキ科	5~6	9~12	落葉高木				栽培	日当たりと水はけのよい所	食用(果実)、防腐剤(果実)、木工材(家具・建築)、庭木、盆栽	「赤き実なる木」が転訛	渋柿は紙や網の強化や防腐剤として利用された	
カクレミノ	隠れ蓑	ミツデ ヤマヤツデ	ウコギ科	7~8	9~11	常緑高木	○		昔		湿り気のある照葉樹林内	家具塗料(樹液)、庭木、公園樹	葉が天狗が持つ蓑に似ているから	塗料となる樹液は黄漆という 若木の葉は3~5裂し、両性花と雄花が混生している	
カゴノキ	鹿子の木	コガノキ カゴカシ	クスノキ科	8~9	7~8	常緑高木		○	昔	早い	照葉樹林内	器具材、楽器材(鼓の胴など)、床柱、船舶材、建築材	樹皮が鹿の子模様になるため	材は堅くて緻密	
カシワ	柏	カシワギ モチガシワ	ブナ科	4~6	10~11	落葉高木				危惧	海岸部や丘陵地	建築材、家具材、器具材、薪炭材、庭木、食用(葉・果実)	食べ物を守るのに適した大型の葉「炊葉(かしきば)」が転訛	葉は枯れても落葉せず、新芽が出る春先まで残る	
カナメモチ	巻鞠	アカメモチ ソバノキ	バラ科	5~6	12	常緑中木			昔	やや早い	山地の斜面や乾燥した尾根筋	道具の柄、扇の要、荷車の車輪、庭木、生け垣	道具の柄、扇の要、荷車の車輪、庭木、生け垣	モチノキに似ていて扇の要に用いられたから	レッド・ロビンはカナメモチとオオカナメモチの雑種
キナシチゴザクラ	鬼無権児桜	—	バラ科	4~5	5~7	落葉高木			—		日当たりが良く肥沃で水はけのよい所	庭木	お権児さんのように可愛らしく華やかな花をつけるため	高松市鬼無町に原木があったが枯死 接ぎ木で育ったものが鬼無各所で育っている	
キンモクセイ	金木犀	モクセイカ	モクセイ科	9~10	—	常緑中木		○	—	遅い	土質を選ばない、大気汚染に弱い	庭木、公園樹	中国名の「木犀」の音読み 樹皮が動物のサイ(犀)の皮膚に似ているため	花に甘い芳香がある、結実しない 花つきの良い雌株だけ選来し挿し木で増殖されているため雌株しかない	
ギンモクセイ	銀木犀	モクセイ	モクセイ科	9~10	5	常緑中木		○	—	遅い	土質を選ばない、大気汚染に弱い	庭木、公園樹	「銀」は白い花の意味	花に芳香があるがキンモクセイほどではない キンモクセイはギンモクセイの変種	
クスノキ	楠	クス	クスノキ科	5~6	11~12	常緑高木			昔		西日本の暖地、照葉樹林内	建築材、船舶材、家具材、彫刻材、薬用(幹・葉)、庭木、公園樹、街路樹	「葉の木」が転訛	材は緻密で精油分を含んでいるため耐久性・耐虫害性が高い	
クリ	栗	シバグリ ヤマグリ	ブナ科	6	9~10	落葉高木			少	早い	丘陵や山地	食用(果実)、建築材、彫刻材、薪炭材、薬用(葉・樹皮)	「黒い実」を表す「クミ」より転訛	材は耐久性があり家の土台に利用された	
クロマツ	黒松	オマツ オトコマツ	マツ科	4~5	10~11	常緑高木			昔		海岸部の日当たりの良い山地や砂浜	防風・防潮樹、生け花材、建築材、土木材、庭木、盆栽、公園樹、街路樹	樹皮が黒っぽいことから	アカマツに比べて葉が太くて尖っているため先端に触れると痛い クロマツとアカマツは稀に雑種(アイグロマツ)を生じる	
ケヤキ	榉	ツキ ツキノキ	ニレ科	4~5	10	落葉高木			昔	早い	谷沿いの肥沃な場所	建築材、家具材、楽器材、彫刻材、漆器木地、庭木、公園樹、街路樹、盆栽	黄く秀てた木という意味の「けやき木」が転訛	黄葉が美しい、枝は扇を開いたような樹形になる	
コウヤマキ	高野楨	マキ ホンマキ	コウヤマキ科	4	10~11	常緑高木	○		—	遅い	山地の岩場	建築材、器具材、桶材、船材、供え花、庭木、公園樹	高野山に多い	材は上質で香りがあり耐湿性に優れる 樹皮はほぐして船や桶の隙間を塞ぐのに用いた	
コトヒラ(桜)	琴平	—	バラ科	4	—	落葉高木			—		日当たりが良く肥沃で水はけのよい場所	庭木	昭和3年に桜の研究者が種木を採取した際に命名したとされる	明治時代に京都の庭園を模して金刀比羅宮に桜が植えられたうちのひとつとされる	
コナラ	小楡	ハハソ ホウソ	ブナ科	4~5	10~11	落葉高木			昔	早い	山地や丘陵地の日当たりのよい雑木林	建築材、家具材、器具材、薪炭材、シタケ栽培木、染料(葉・樹皮)	大楡と呼ばれるミズナラより小さい実をつけることから	萌芽力が強い強い薪炭材の重要樹種であった	
コブシ	辛夷	ヤマモクレン タウチザクラ	モクレン科	3~4	9~10	落葉高木			逸出	やや早い	落葉広葉樹林に自生	建築材、家具材、器具材、香水(花)、薬用(蕾)、庭木、公園樹、街路樹	集合果が人の握りこぶしに似ていることから	山中で似た花木を見かけたらタムシバの可能性が高い 材は緻密、花の下に1枚の葉がつく	
サカキ	榊	マサカキ カミシバ	ツバキ科	6~7	11~12	常緑高木			少		暖地の照葉樹林内	神事の供え木、器具材、細工材、薪炭材、庭木、公園樹、生け垣	年中、緑の葉を繁茂して栄える木の意味の「栄樹」より	冬芽が鳥の爪状に曲がる	
サザンカ	山茶花	ヒメツバキ コカタシ	ツバキ科	10~12	10	常緑中木	○		—		暖地の低山	細工材、生け花材、器具材、庭木、公園樹、街路樹、生け垣、盆栽	中国語でツバキ類を指す山茶由来し、山茶花の読み「さんさか」が転訛	種子から油がとれるがツバキより劣るとされる 材は緻密で堅い、野生のものは白色花の一回咲き	
サツキ	阜月	サツキツツジ	ツツジ科	5~6	11~12	半常緑低木			—		溪流沿いの岩地	庭木、公園樹、街路樹、盆栽	5月(阜月)に花が咲くことから	多くのツツジ科植物が過湿を嫌うが、サツキの根は水に強い	
サルトリイバラ	猿捕り茨	カカラ	ユリ科	4~5	10~12	落葉つる性中木		○	昔		山野の林内、林縁	生け花材、柏葉の代用、薬用(根)	鋭い棘のつるによってサルも絡み捕られる意味	茎のトゲや巻き上げてほかの物に絡みつく	
サンシュユ	山菜蕒	ハルコガネバナ アキサンゴ	ミズキ科	2~3	9~11	落葉中木			—	早い	日当たりが良く肥沃で水はけのよい場所	薬用(果実)、生け花材、庭木、公園樹、街路樹	中国名の「山菜蕒」を音読みした物	江戸時代中期に薬用植物として渡来したと言われる	
シリブカガシ	尻深楡	シリフカ シリブカ	ブナ科	9	11~12	常緑高木			少		花崗岩地帯の尾根や岩場、急傾斜地などの乾燥する立地	建築材、器具材、薪炭材、農具の柄、船舶材、食用(堅果)、公園樹	ドングリの底が深くへこんでいることから	普通カン類は春から初夏に花が咲くが、初秋に開花する	
シロバナウンゼンツツジ	白花雲仙躑躅	シロバナウンゼン	ツツジ科	4~5	—	半常緑低木			少		日当たりのよい山地に稀に自生	庭木	白い花を付けるウンゼンツツジの変種とされたことから	花冠上部の内側に紅色の斑点がある 特に夏葉は小さく越冬する	
シロマツ	白松	ハクショウ サンコノマツ	マツ科	4~5	10	常緑高木			—		日当たりの良い場所	庭木、街路樹、食用(種子)、薬用(種子)	古木になると樹皮の色が白緑色になるため	3葉だが2葉も混じる、暑さと乾燥に強いが病害虫に弱い	
スイリュウヒバ	垂柳緑葉	イトヒバ シダレヒバ	ヒノキ科	3~4	10~11	常緑高木			—		比較的场所を選ばない、公害や潮害に強い	庭木、生け垣	枝葉が垂れ下がってシダレヤナギのようなため	ヒノキの園芸品種で葉先がとがらず光沢がある ひも状に分岐して垂れる、結実はまれ	
スギ	杉	—	スギ科	2~4	10~11	常緑高木	○			植栽	山地の沢沿い	街路樹、建築材、器具材、細工材、緑香の原料(葉)	まっすぐに伸びる「直木(すぐき)」が転訛	人工造林面積は日本で最も多い	
スギ(だいすぎ)	杉(台杉)	—	スギ科	2~4	10~11	常緑高木	○		—	早い	スギと同じ(山地の沢沿い)	鹿丸木、垂木丸太、庭木	スギの仕立て方のひとつ 台状の木から直立して伸びる枝を育てる	苗不足を解決するひとつの方法として考え出された	
スラッシュマツ	スラッシュ松	カリビアマツ	マツ科	4~5	10	常緑高木			—		日当たりと排水がよい場所	建築材、器具材、土木用材、船舶材、樹脂、パルプ・製紙チップ、バイオマス燃料	英名を日本語に訳したもの	テーダマツに比べて樹皮が白っぽく球果のトゲが小さい マツ材線虫病に強いが風害に弱い	
ソテツ	蘇鉄	シテイチ カラナツメ	ソテツ科	6~8	11~12	常緑中木		○	—	遅い	海岸の崖など	庭木、公園樹、鉢植え、生け花材、薬用(種子)、食用(種子・幹)	中国名「蘇鉄」の音読み 枯れそうな時に鉄くぎをきき与えると蘇生するという言われから	救荒植物、有毒	
ソメイヨシノ	染井吉野	ヨシノザクラ	バラ科	3~4	6~7	落葉高木				植栽	日当たりが良く肥沃で水はけのよい場所	庭木、公園樹、街路樹、生け花材、曲げ物材、版木、細工材、器具材、薬用(樹皮)、食用(花・葉)	江戸時代「吉野桜」として売り出されたが、奈良吉野山の桜と区別するための発祥地で ある染井村の染井を冠した	エドヒガンとオオシマザクラの雑種 実をつけても繁殖できない	

香川県森林センター 樹木マップ（本館周辺） R6.2現在

名前の由来は諸説あります。一般的な由来の一部を紹介します。

和名	漢字	主な別名	科	花期(月)	果期(月)	樹形	日本固有種	雌雄異株	香川の山で見られる	成長速度	生育地・適地	用途	名前の由来	特徴
ソヨゴ	冬青	フクラシバ サンジ	モチノキ科	6~7	10~11	常緑中木		○	昔		やや乾いた山林	細工材（櫛・そろばん玉）、工具の柄、薪炭材、染料（樹皮）、庭木、公園樹	葉が風にそよいでサヤサヤと音をたてるという意味の「戦ぐ（そよぐ）」より	樹皮から鳥もちを採る。材は緻密で堅い
ダイオウショウ	大王松	ダイオウマツ	マツ科	4~6	10	常緑高木		—	初め遅くのち早い		日当たりがよく湿気のある肥沃な土地	建築材、松節、生け花材（葉）、庭木	世界一長い葉を持つことから「大王」と称される	松かさ大きく20cmくらい 3葉でマツとしては世界一長い葉である
タイミンタチバナ	大明楠	ヒチノキ ツゲキ	ヤブコウジ科	3~4	10~11	常緑中木		○	少		沿岸部の照葉樹林内	薪炭材、駆虫剤（樹皮）、染料（樹皮）、食用（果実）	明（みん）の国に産するカラタチバナの意味	材は堅いが反りやすい、救荒植物
タカノツメ	鷹の爪	イモノキ	ウコギ科	5~6	9~10	落葉中木	○	○	少		山地の林内	木工材（マツナの軸、箸、下駄、経木）	冬芽の形が鷹の爪に似ているから 別名のイモノキは、材が白くて柔らかいため	葉は三出複葉、秋の黄葉が山中に映える
タブノキ	楡の木	タブ イヌグス	クスノキ科	4~5	7~9	常緑高木			少	早い	山野の暖地や海岸部	建築材、家具材、染料（樹皮）、器具材、彫刻材、庭木、公園樹	魂の宿る木を表す「霊（たま）の木」より	雨量の少ない瀬戸内沿岸部には少ない 材は堅く、古くから有用樹種である
タマミズキ	玉水木	アカミズキ	モチノキ科	6	10~12	落葉高木		○	少	早い	沿岸部の山地にやや稀に生育	庭木	雌株の果実が美しく全体の漢字がミズキに似ているため	果実は赤く熱帯鳥に好まれる、本年枝には種がある
タラノキ	惣の木	オングイ ウドモドキ	ウコギ科	8~9	10~11	落葉中木			昔		伏採跡や荒地、藪などの日当たりの良い場所	食用（若芽）、薬用（根皮・樹皮）、工芸材、庭木	ざらついた木肌が鷹の爪に似ているため	幹や枝に鋭いトゲがある トゲのない変種をメダラと呼び稀に見られる
テーダマツ	テーダ松	タエダマツ	マツ科	3~4	9~11	常緑高木		—			日当たりと排水がよい場所	建築材、器具材、土木用材、船舶材、ペニヤ材、松脂、パルプ・製紙チップ、バイオマス燃料	学名に「マツ」をつけたもの	スラッシュマツに比べて樹皮の赤味が強く球果のトゲが大きい マツ材線虫病に強いが風害に弱い
ドウダンツツジ	灯台躑躅	フデノキ	ツツジ科	4~5	7~10	落葉低木			稀		山地の蛇紋岩地	庭木、生け垣、公園樹	枝分かれの様子が「結び灯台」の脚部に似ているため「灯台」が転訛	秋の紅葉が美しい、刈り込みに強い
トベラ	扉	トビラ バリバリシバ	トベラ科	5~6	10~12	常緑中木		○	昔		海岸近くの山地や丘陵地	防風林、生け花材、櫓（ろ）や櫂（かい）の材、庭木、公園樹、街路樹、生け垣	節分に枝を扉にはさんで厄除けにしたことから	葉は特有の悪臭を放つ、材は堅い
ナギ	椰	コソウナカセ チカラシバ	マキ科	5~6	10~11	常緑高木		○	—	きわめて遅い	暖地の山地林内	神社によく植えられる、建築材、器具材、彫刻材、庭木、公園樹	葉が氷田に生える草のコナギの葉に似ていることから	葉の形が広葉樹に見えるが針葉樹である
ナツツバキ	夏椿	シャラノキ サラ	ツバキ科	6~7	10~11	落葉高木			準危惧	やや早い	山地の林内に自生	建築材、器具材、柄木、彫刻材、庭木	夏になると、色は違いますがツバキによく似た花が咲くから	古い樹皮は鹿の子模様と削け落ちる
ネズミサシ	鼠刺し	ネズ、ヒムロ モロダ	ヒノキ科	4	10	常緑中木		○	昔		丘陵地や山地の尾根など日当たりの良い場所に自生	建築材、船舶材、器具材、細工材、薬用（果実）、生け垣	針葉が堅くて鋭く尖り、ネズミを刺すほどであるから	針状の葉が3枚ずつ輪生する ヒノキ樹脂腐病の伝染源
ハクチョウゲ	白丁花	バンテイシ ハクチョウボク	アカネ科	5~7	—	常緑低木			—		各地で植栽	庭木、生け垣、盆栽、公園樹	丁字型の白い花を咲かせるため	日本では普通は果実ができない
ハナゾノツクバネウツギ	花園衝羽根空木	ハナゾクバネウツギ アベリア	スイカズラ科	6~10	—	常緑中木			—	きわめて早い	乾燥や大気汚染に強くアルカリ土壌でも育つ	庭木、公園樹、街路樹	花が次々と咲き（花園）、かく片が羽根空きの羽根に似て（衝羽根）、枝が中空（空木）であるから	果実の中に種子ができないため中空
ハナミズキ	花木木	アメリカヤマボウジ	ミズキ科	4~5	9~11	落葉中木			—	早い	日当たりと水はけがよく湿気のある場所	庭木、公園樹、街路樹、生け花材	ミズキ属の中でも花（総苞）が美しく目立つことから	花卉に見えるのは4枚の総苞（そうほう）で葉が変化したもの
バラナマツ	バラナ松	ブラジルマツ	ナンヨウスギ科	3~5	—	常緑高木		○	—	やや遅い	日当たりと水はけの良い場所を好む	パルプ用材、建築材、家具材、食用（種子）、庭木	ブラジルのバラナで多く自生するため	材は緻密で堅く耐久性がある、
ヒイラギ	終	ヒヒラ メツキバラ	モクセイ科	10~11	6~8	常緑中木		○	昔	遅い	西日本の照葉樹林域	細工材（そろばん玉・印材・符根の駒）、庭木、公園樹	鋸歯に触れると痛むので疼（ひら）く木より	材は緻密で堅い、老木になると鋸歯がなくなる クリスマス飾りはモチノキ科のセイヨウヒイラギ
ヒイラギナンテン	終南天	トウナンテン	メギ科	3~4	6~7	常緑低木			—	早い	耐陰性がある	庭木、公園樹、生け垣、薬用（枝葉）、生け花材	葉が怪に、紅葉と木質がナンテンに似ているため	材は黄色、樹皮はコルク質
ヒイラギモクセイ	終木犀	—	モクセイ科	9~10	—	常緑中木		○	—		山地、耐寒性あり、日陰でも育つ	庭木、公園樹、街路樹、生け垣	モクセイの仲間、ヒイラギに似た葉をつけることから	ヒイラギとギンモクセイの交雑種と考えられている 芳香あり、剪定に耐える
ヒサカキ	姫榊	イヌサカキ ノサカキ	ツバキ科	3~4	10~11	常緑低木		○	昔		山地の林床	器具材、薪炭材、染料（果実・木灰）、神事の供え木、庭木、公園樹、生け垣	サカキに比べて小さいため「姫榊」、実が多いので「実栄樹」、サカキでないので「非サカキ」など諸説あり	材は緻密で堅い、花には悪臭がある
ヒノキ	檜	ホンヒ	ヒノキ科	3~4	10~11	常緑高木	○		稀（植栽）	早い	山地の乾燥した場所	建築材、土木材、器具材、細工材、彫刻材、生け垣、盆栽	材をこすり合わせて火をおこしたので「火の木」	葉の裏面に白色の気孔帯がありY字形に見える 材は緻密で光沢があり香りもよい
ヒメコマツ	姫小松	ゴヨウマツ	マツ科	5~6	10	常緑高木			—	遅い	山地の尾根や岩の上	建築材、楽器材、楽器材、細工材、彫刻材（欄干・仏壇・建具）、生け花材、庭木、盆栽	マツの仲間、葉が短く小ぶりな種を姫（ヒメ）とした	5葉性、材は均質で狂いが少ない
ヒメシャラ	姫沙羅	サルスベリ ヤマチシャ	ツバキ科	6~7	10~11	落葉高木	○		—	やや早い	山地の林内に自生	建築材、器具材、床柱、生け花材、庭木、公園樹、盆栽	ナツツバキ（シャラノキ）に似ていて、花も葉も小さいことから	樹皮は明るい赤褐色でつるつるしている 美しいので樹皮がいたまま床柱に用いられる
フユイチゴ	冬莓	カンイチゴ キンイチゴ	バラ科	8~10	9~12	常緑つる性低木			昔		山野や海に近い山地の林内	食用（果肉）	冬に実が熟するため	毛の多さや葉の大きさは日当たりで多少変化する 明るい場所の方が多く実がつく
マテバシイ	馬刀葉榊	サツマジイ マタジイ	ブナ科	6	9~10	常緑高木			—	早い	暖地の海岸近くの林や山地に自生	建築材、器具材、食用（種子）、公園樹、街路樹	マテは九州地方の方言とされるが意味は不明	救荒植物、他のシイに比べて大味だが茹でてから炒ると甘みが増す もともと四国に自生しない
マンリョウ	万両	ヤブタチバナ	ヤブコウジ科	6~7	11	常緑低木			少		暖地の樹林内に自生	庭木、盆栽、鉢植え（縁起木として）、生け花材	センリョウ（千両）より葉や果実が豪華なため「万両」	実生から突然変異が出やすいため、古くから園芸品種が多く栽培されてきた
ムベ	郁子	トキワアケビ ノボケ	アケビ科	4~5	11	常緑つる性中木			少		照葉樹林内	食用（果実）、薬用（葉・茎）、生け花材、生け垣、盆栽	天智天皇に献上していたことから貴物を指す「おおむべ」より転訛	果実は熟してもアケビのように裂開しない 育つにつれて小葉が増えるのでめでたい木とされる
メタセコイア	—	アケボノスギ イチイヒノキ	スギ科	2~3	10	落葉高木			—	きわめて早い	沢筋で肥沃な場所	公園樹、街路樹、記念樹、庭木	メタは「異なった」という意味で、セコイアに似ているが違ふという意味	材はもろくあまり有用ではないとされる
モッコク	木斛	アカミノキ	ツバキ科	6~7	10~11	常緑高木		○	少		海岸近くの照葉樹林内 比較的乾いた所	建築材、染料（樹皮）、庭木、公園樹、街路樹	花の香りがラン科の石斛（せっこく）に似ているから	両性花の株と雄花だけの株がある 花や材に香りがある、材は緻密で堅い
モミ	栂	モミソ トウモミ	マツ科	5	10	常緑高木	○		少		内陸の谷間や湿潤な緩斜面	建築材、船舶材、器具材、棺材、卒塔婆、公園樹	万葉集に登場する「臣の木（おのみき）」より転訛	若木の葉は先がツバメの尾のように鋭く尖る
ヤオトメ（桜）	ハ少女	—	バラ科	3~4	6~7	落葉高木			—		日当たりが良く肥沃で水はけのよい場所	庭木	金刀比羅宮の巫女が披露するハ少女舞にちなんで令和2年に命名	サトザクラの一種 金刀比羅宮の表書院の土手にある古木から苗木を仕立て境内に植栽
ヤブコウジ	藪柑子	ジュウリョウ ヤブタチバナ	ヤブコウジ科	7~8	10~11	常緑低木			昔		丘陵地や山地の林内	庭木、盆栽、鉢植え	藪に生えるミカン類（柑子・こうじ）の意味で、生育場所と果実の形にちなむ	地下茎を伸ばして繁殖する
ヤブツバキ	藪椿	ツバキ ヤマツバキ	ツバキ科	11~4	9~11	常緑高木			昔	遅い	温暖な沿岸部の林内や林縁に自生	器具材、採油用、庭木、公園樹、街路樹、盆栽、生け花材	葉が厚い様子から厚葉木（あつばぎ）が転訛	種子からは精油と呼ばれる良質の油が採取できる
ヤマモモ	山桃	ヤマメ ヨウバイ	ヤマモモ科	3~4	6~7	常緑高木		○	少		沿岸部の山野に自生する 痩せ地でもよく育つ	食用（果実）、薬用（樹皮）、器具・細工材、染料（樹皮）、公園樹、街路樹	山に生え、果実がモモのように食べられることから	葉は鋸歯が出ることもあり、先端側の幅が広い 透かすと細かい網目が見える
ユーカリノキ	有加利樹	ナガバユウカリ アオゴムノキ	フトモモ科	6~7	10	常緑高木			—		関東以西の沿岸部、公園や学校	建築材、船舶材、薬用（葉）、香料（葉）、庭木、公園樹	属名の英語読み「ユーカリプタス」を短縮したもの	特有の香りがある（特に葉）、風害に弱い
ラカンマキ	羅漢榊	マキ	マキ科	5~6	10~12	常緑中木		○	—	遅い	比較的場所を選ばない、乾燥と寒さに弱い	建築材、器具材、防風林、庭木	果実の形を仏教僧の羅漢の頭に見立てた	イヌマキの変種で葉は上向きにつく、雄花が少なく結果はまれ
リョウブ	令法	ボウリョウ ハタツモリ	リョウブ科	7~8	10~11	落葉中木			昔		日当たりの良いアカマツ林や落葉樹林内	食用（新芽・若葉）、建築材（床柱）、器具材、細工材、薪炭材、庭木、公園樹	官令で定めて種子を配布したり植樹したため「令法」より	救荒植物、材は割れにくい、古木になると樹皮が割れて鹿の子模様になる。

参考にした資料：「四国の樹木観察図鑑」愛媛新聞社、「原色樹木大図鑑」北隆館、「四国の野生を主とした樹木」中澤 保